

プラチナ展望

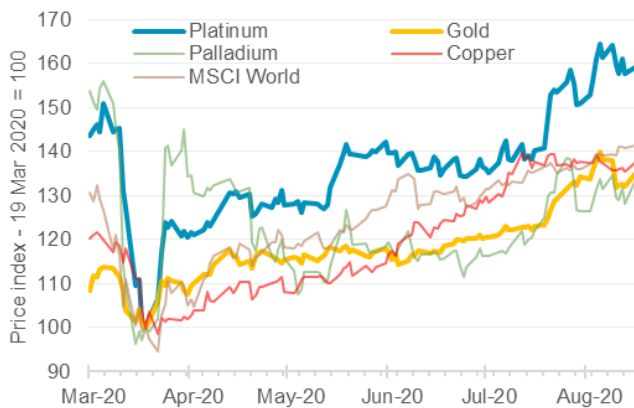
貴金属需要の世界的な高まりで プラチナ投資の可能性に注目

新型コロナウイルス感染症の拡大によってグローバルリスクが高まる中、リスクヘッジとしてのゴールドは投資需要を呼び込み、**今年のゴールドETFの保有高は20%増の490億ドル**。様々なスタイルの数多くの投資家らがゴールド取引に参加して投資をし、またゴールドについてコメントしているため、世界不況や当局の介入によるインフレへの懸念などマクロレベルの出来事が価格に迅速に反映する背景となっている。今年に入ってからゴールド価格は27%上昇し、8月6日には過去最高の2067ドルをつけた。現在、ほとんど全ての投資資産クラスのパフォーマンスを上回っている。

世界のプラチナETF保有量は重量では今年6%増(6.3トン)で、運用資産残高では3%増(8900万ドル)。プラチナ価格は3%下降。しかし実は、**2020年3月19日にプラチナは599ドル、ゴールドは1474ドルに下落した時点からのプラチナの上げ幅は58%で、ゴールドの32%を大幅に上回ったことはあまり注目されていない**。長い間低迷していたプラチナの先行きが初めてポジティブなものになったことは重要な変化だ。

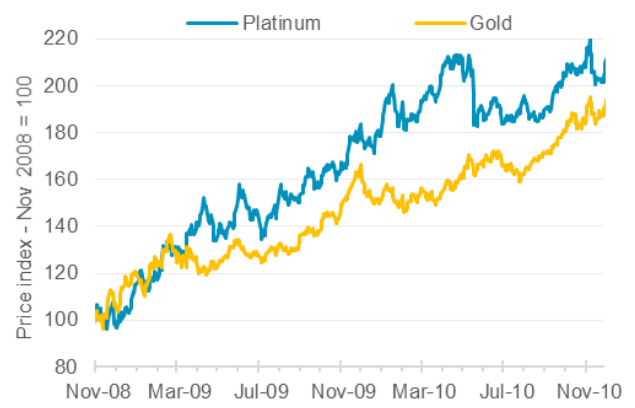
プラチナ価格のパフォーマンスがゴールドのそれを上回るのは例外的なことではなく、2008年後半の世界金融危機から2年間、**プラチナの週間リターンはゴールドのそれを30%から65%も上回っていた**。

2020年3月半ばの新型コロナのショックによる投げ売り以来、プラチナの回復は他のアセットを上回る



資料: ブルームバーグ, WPIC リサーチ, (2020年3月1日-2020年8月14日)

価格下落を引き起こした2008年の世界金融危機以後の2年間、プラチナのパフォーマンスはゴールドを上回っていた。



資料: ブルームバーグ, WPIC リサーチ, (2008年11月1日-2010年11月30日)

その後のプラチナのパフォーマンスは、弱い自動車需要にも拘らず投資需要の成長と非常に強いプラチナ宝飾品の需要と制限ある供給のために投資家センチメントは良好だった。**金融危機以降の2年間でプラチナETF保有量は2.7トン増え、NYMEXは31.1トンのネットロングポジションとなり、プラチナ宝飾品需要は31.1トン以上増えた。**

2020年、プラチナ市場のファンダメンタルズが上向いたことは我々のプラチナ展望 [7月自動車業界のプラチナ需要トレンドと](#)、[7月プラチナ不足](#)で報告した。大量のプラチナを輸入する中国、地金バーとコインの需要増、浄化触媒装置のパラジウムのプラチナ代替、さらに供給の減少で投資家センチメントは好転。プラチナのゴールドとの相関関係は、新型コロナウイルス感染症拡大以降、0.7に回復し、結果、より多くのゴールド投資家がそれだけでもプラチナをゴールドに近い存在としてとらえ、さらにゴールドを上回る可能性にも期待する。

2008年11月のプラチナとゴールドそれぞれ1オンスの価格はほぼ同等の約800ドルだったが、その後2年間のプラチナの回復は30%から65%でゴールドを上回った。

2020年3月、ゴールドの下落率は他の投資アセットより少なかったが、その後のプラチナの回復率はゴールドのほぼ2倍。

Trevor Raymond
Director of Research
+44 203 696 8772

traymond@platinuminvestment.com

David Wilson
Manager, Investment Research
+44 203 696 8786

dwilson@platinuminvestment.com

Brendan Clifford
Manager, Investor Development
+44 203 696 8778

bclifford@platinuminvestment.com

World Platinum Investment Council
www.platinuminvestment.com
Foxglove House, 166 Piccadilly
London W1J 9EF

2020年8月

投資資産としてのプラチナの魅力:

- 新たな PGM 鉱山への投資は限定的で、供給は比較的制限されている。
- プラチナ価格は金との比較では過去最低価格に近い。パラジウムとの比較では史上最低レベルにある。
- PGM 全体の需要は排ガス規制の厳格化により今後も成長
- プラチナとパラジウム市場の需給バランスと価格のミスマッチはプラチナへの代替を加速
- プラチナの低価格と良好なファンダメンタルズへの展望で機関投資家需要は急増

図 1: プラチナのゴールドとの相関係数は新型コロナ拡大以来、0.7 に回復



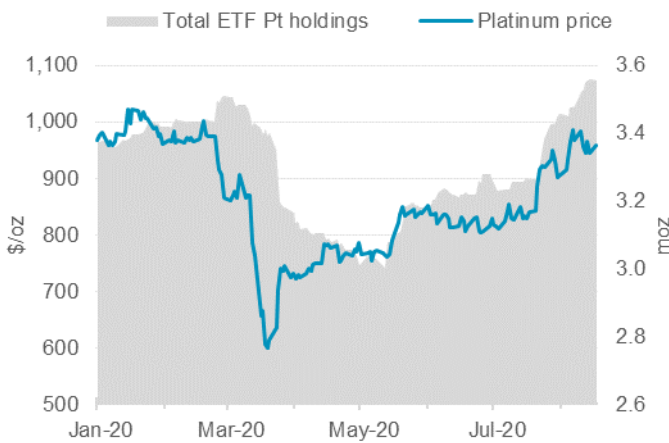
資料: ブルームバーグ, WPIC リサーチ, (2020 年 8 月 17 日現在)

図 2: プラチナの現在のエントリーコストはゴールドに比べ非常に低いが、リターンはより高い。



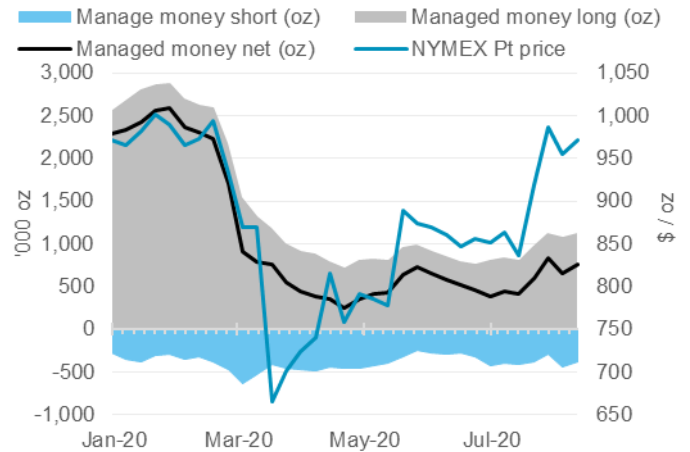
資料: ブルームバーグ, WPIC リサーチ, (2020 年 8 月 17 日現在)

図 3: プラチナ ETF の現物保有量は 2020 年 5 月の底値から 17.6 トン増



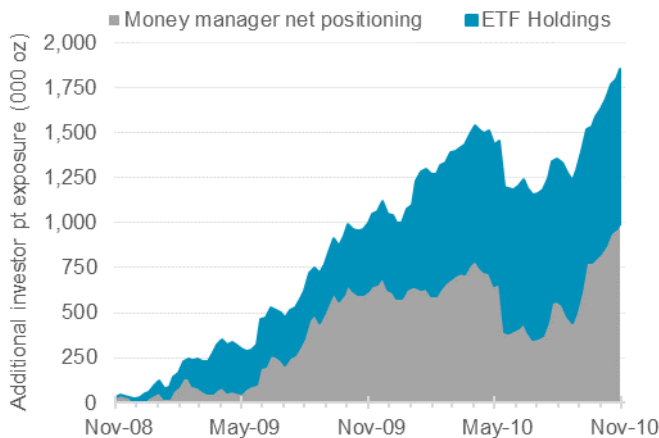
資料: ブルームバーグ, WPIC リサーチ, (2020 年 8 月 17 日現在)

図 4: 2020 年 4 月以来、NYMEX のプラチナ先物ロングは約 15.6 トン増



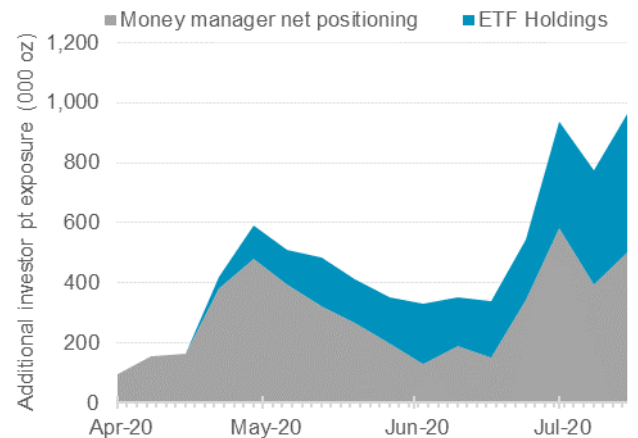
資料: ブルームバーグ, WPIC リサーチ, (2020 年 8 月 11 日現在)

図 5: 2008 年 11 月 4 日 から 2010 年 11 月 9 日までの間で NYMEX プラチナ先物とプラチナ ETF は 57.5 トン増



資料: ブルームバーグ, WPIC リサーチ, (2008 年 11 月 4 日 - 2010 年 11 月 9 日)

図 6: 2020 年 4 月 21 日から 8 月 11 日の間で NYMEX プラチナ先物と ETF は約 31.1 トン増



資料: NYMEX, ブルームバーグ, WPIC リサーチ(2020 年 8 月 11 日現在)

免責条項:

当出版物は一般的なもので、唯一の目的は知識を提供することである。当出版物の発行者、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルは、世界の主要なプラチナ生産会社によってプラチナ投資需要発展のために設立されたものである。その使命は、それによって行動を起こすことができるような見識と投資家向けの商品開発を通じて現物プラチナに対する投資需要を喚起すること、プラチナ投資家の判断材料となりうる信頼性の高い情報を提供すること、そして金融機関と市場参加者らと協力して投資家が必要とする商品や情報ルートを提供することである。

当出版物は有価証券の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきものでもない。当出版物によって、出版者はそれが明示されているか示唆されているかにかかわらず、有価証券あるいは商品取引の注文を発注、手配、助言、仲介、奨励する意図はない。当出版物は税務、法務、投資に関する助言を提案する意図はなく、当出版物のいかなる部分も投資商品及び有価証券の購入及び売却、投資戦略あるいは取引を推薦するものとみなされるべきでない。発行者はブローカー・ディーラーでも、また2000年金融サービス市場法、Senior Managers and Certifications Regime及び金融行動監視機構を含むアメリカ合衆国及びイギリス連邦の法律に登録された投資アドバイザーでもなく、及びそのようなものと称していることもない。

当出版物は特定の投資家を対象とした、あるいは特定の投資家のための専有的な投資アドバイスではなく、またそのようなものとみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。いかなる投資、投資戦略、あるいは関連した取引もそれが適切であるかどうかの判断は個人の投資目的、経済的環境、及びリスク許容度に基づいて個々人の責任でなされるべきである。具体的なビジネス、法務、税務上の状況に関してはビジネス、法務、税務及び会計アドバイザーに助言を求めるべきである。

当出版物は信頼できる情報に基づいているが、出版者が情報の正確性及び完全性を保証するものではない。当出版物は業界の継続的な成長予測に関する供述を含む、将来の予測に言及している。出版者は当出版物に含まれる、過去の情報以外の全ての予測は、実際の結果に影響を与えるリスクと不確定要素を伴うことを認識しているが、出版者は、当出版物の情報に起因して生じるいかなる損失あるいは損害に関して、一切の責任を負わないものとする。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルのロゴ、商標、及びトレードマークは全てワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルに帰属する。当出版物に掲載されているその他の商標はそれぞれの商標登録者に帰属する。発行者は明記されていない限り商標登録者とは一切提携、連結、関連しておらず、また明記されていない限り商標登録者から支援や承認を受けていることはなく、また商標登録者によって設立されたものではない発行者によって非当事者商標に対するいかなる権利の請求も行われぬ。

WPIC のリサーチと第2次金融商品市場指令 (MiFID II)

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル(以下 WPIC) は第2次金融商品市場指令に対応するために出版物と提供するサービスに関して内部及び外部による再調査を行った。その結果として、我々のリサーチサービスの利用者とそのコンプライアンス部及び法務部に対して以下の報告を行う

WPIC のリサーチは明確に Minor Non-Monetary Benefit Category に分類され、全ての資産運用マネジャーに、引き続き無料で提供することができる。また WPIC リサーチは全ての投資組織で共有することができる。

1. WPIC はいかなる金融商品取引も行わない。WPIC はマーケットメイク取引、セールストレード、トレーディング、有価証券に関わるディーリングを一切行わない。(勧誘することもない。)
2. WPIC 出版物の内容は様々な手段を通じてあらゆる個人・団体に広く配布される。したがって第2次金融商品市場指令(欧州証券市場監督機構・金融行動監視機構・金融市場庁)において、Minor Non-Monetary Benefit Category に分類される。WPIC のリサーチは WPIC のウェブサイトより無料で取得することができる。WPIC のリサーチを掲載する環境へのアクセスにはいかなる承認取得も必要ない。
3. WPIC は、我々のリサーチサービスの利用者からいかなる金銭的報酬も受けることはなく、要求することもない。WPIC は機関投資家に対して、我々の無償のコンテンツを使うことに対していかなる金銭的報酬をも要求しないことを明確にしている。

さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイトを参照。

website: <http://www.platinuminvestment.com/investment-research/mifid-ii>

当和訳は英語原文を翻訳したもので、和訳はあくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。